

# 高松広域都市圏都市交通マスタープラン（案）について

## パブリック・コメント（意見公募）を実施します

### 1 意見を募集する計画

高松広域都市圏都市交通マスタープラン（案）

### 2 制定の趣旨

高松広域都市圏都市交通マスタープラン（案）は、人口減少、高齢化の進行、都市の郊外への拡大に伴う人口密度の減少など、近年の都市を取り巻く課題を解決するため、将来の都市交通のあり方について計画を策定するものです。

### 3 意見募集期間

平成27年1月13日（火）から平成27年2月13日（金）まで

### 4 案と関係資料の入手方法

案と関係資料は、県ホームページ

(URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kgwpub/pub/cms/detail.php?id=11451>)

に掲載するほか、都市計画課や県民室、各県民センターの窓口、各市町都市計画担当課にて縦覧・配布します。

### 5 意見の提出方法

- ① 案についての意見は、下記の提出先へ郵送（平成27年2月13日消印有効）、持参、FAX、電子メールで提出してください。電話による受付はしません。
- ② 意見を記載する様式は任意ですが、氏名、住所、電話番号を明記してください。意見の内容以外は公表しません。
- ③ 意見は、日本語による文書(電子文書を含みます。)で提出してください。
- ④ 意見が大部になる場合には、要約を添付してください。

### 6 募集結果の発表方法

提出された意見は、これに対する香川県の考え方とともに整理した上で、都市計画課や県民室、各県民センターと県ホームページ、各市町都市計画担当課で平成27年3月頃に発表します。意見について、直接個別に回答することはいたしません。

### 7 提出先（問い合わせ先）

都市計画課

〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号

電話：087-832-3557/FAX：087-806-0222

電子メールアドレス：toshikei@pref.kagawa.lg.jp

# 高松広域都市圏都市交通マスタープラン(案)

◎ 持続可能な地域社会の実現を図るため、  
都市交通マスタープラン(案)を作成しました。

平成 24 年度に実施したパーソントリップ調査に基づいた将来の交通まちづくりに関するプラン(案)です。

このプラン(案)をより良いものとするため、皆様のご意見をお聞かせください。

実施主体 高松広域都市圏総合都市交通体系調査委員会 事務局：香川県土木部都市計画課

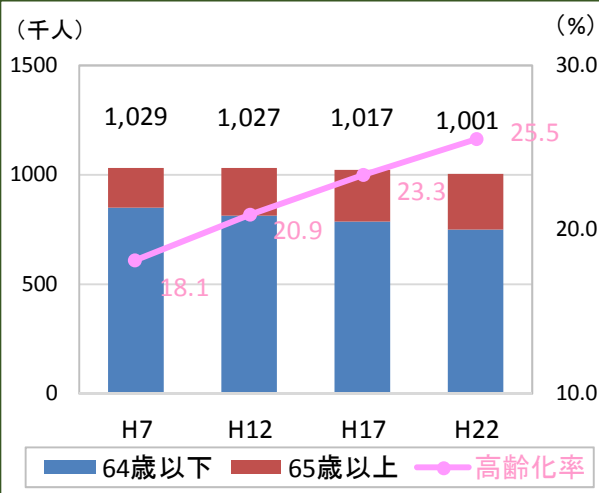
## この20年間で県内の移動状況は様変わりしました。

この20年間で県人口は減少し、高齢化が進行しました。特に、市街地以外の地域でその傾向が大きい状況です。

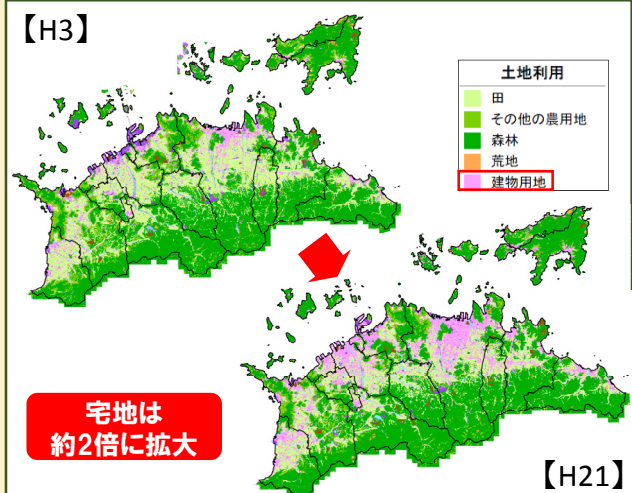
また、農地の転用が進み、都市が拡大してきました。加えて、自動車利用が増加しました。

### 人口等社会経済動向について

#### ■人口分布の変化



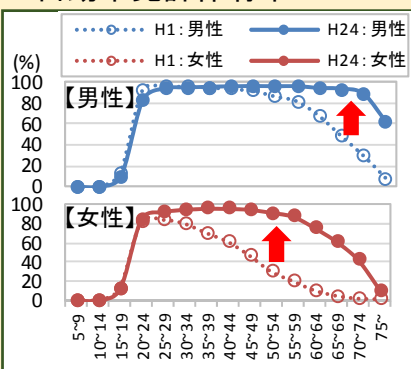
#### ■土地利用状況の変化



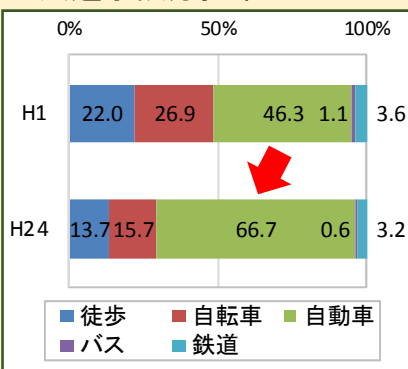
### 県内の移動状況について

- ・自動車免許保有率は女性・高齢者で高まり、自動車利用割合は増加
- ・中心市街地へ足を運ぶ人の割合が減少

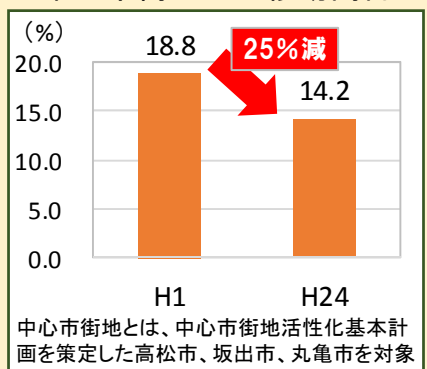
#### ■自動車免許保有率



#### ■交通手段分担率



#### ■中心市街地への移動割合

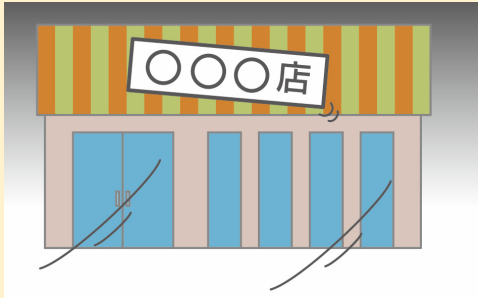


# 現在の状況がこのまま進めば・・・

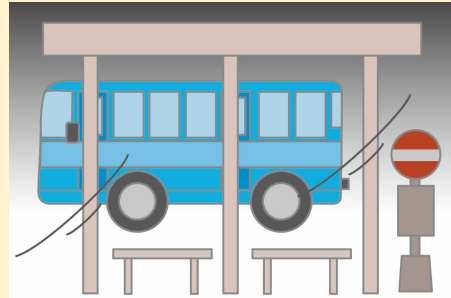
今後20年間の状況を考えると、現在の状況が進めば商業施設や公共交通の利用者数も減少し、現在のサービス水準が維持できなくなる恐れがあります。

## 現在の状況がますます進行すると・・・

各種生活サービス施設の利用者数の減少



県人口の減少に伴う公共交通利用者数の減少



**日常生活や社会生活の基盤となるサービス施設等の維持が困難に！**  
場合によっては、みなさんの身近な商業・医療施設のサービス水準が低下する恐れもあります。

# 将来のまちづくりの考え方は・・・

## 集約型都市構造を目指します！

中心市街地などの拠点と、鉄道や幹線道路等のネットワークによって構成される都市構造を目指します。

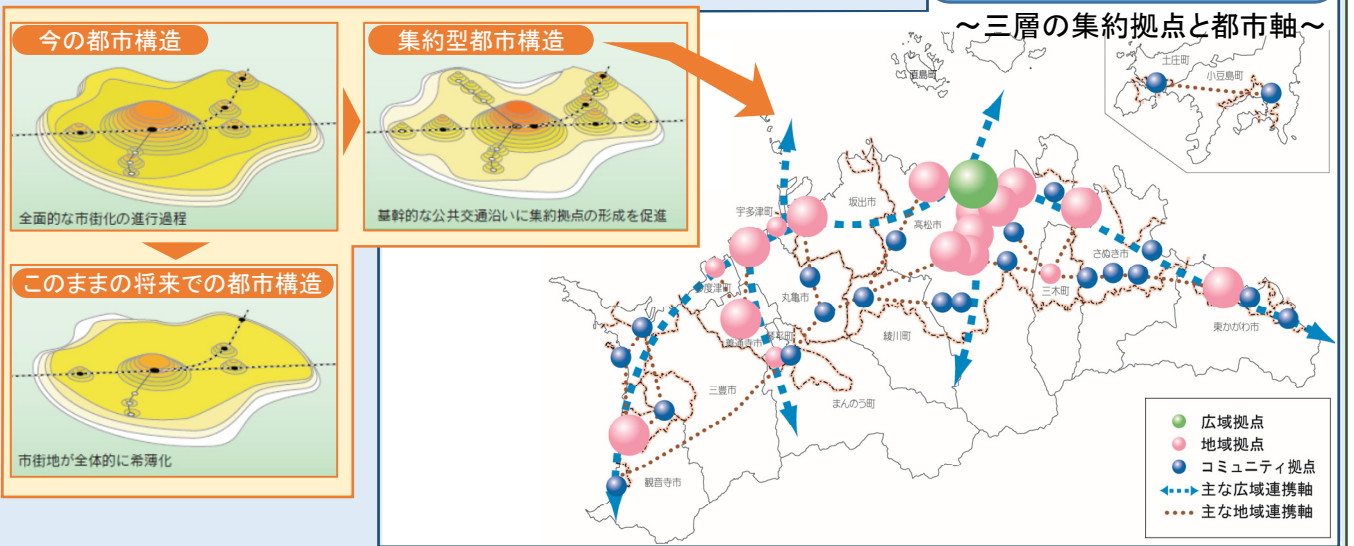
現在の香川県の都市構造は、商業施設等の生活関連サービス施設が都市圏全域に点在しており、このまま将来を迎えると、低密度な都市となり、生活サービス施設の維持が困難になる可能性があります。

そこで、誰もが暮らしやすい都市にするために、都市構造をしっかりとした骨組みに変えます。

また、中山間地域等では、商店、診療所など日常生活に不可欠な施設や地域活動を行う場を、歩いて動ける範囲に集め、周辺集落とネットワークでつないだ「小さな拠点」の形成も目指します。

### 香川県が目指す 将来都市構造

～三層の集約拠点と都市軸～



# 集約型都市構造への転換に資する課題・施策体系を設定します！

## 課題

集約型都市構造を支える交通体系の構築

自動車や公共交通等、各種交通相互の連携強化による総合交通体系の構築

安全かつ円滑な交通体系の構築

環境に配慮した持続性の高い交通体系の構築

高齢者や移動困難者等に対応するための移動手段の確保

中心市街地の求心性向上に資する交通体系の構築

県外等との広域的な交流や観光活動を支える交通体系の構築

## 施策の体系

拠点内居住の促進

- ・拠点内の住居を魅力あるものにするるとともに、拠点内への居住を促進します。

適正な土地利用コントロール

- ・拠点内と拠点外の土地利用を分けます。

拠点間連携軸の強化

- ・拠点と拠点を結ぶ交通を魅力あるものにします。

拠点（交通結節点）へのアクセス性向上

- ・一定のサービスを有する交通を確保します。

拠点内周遊環境向上

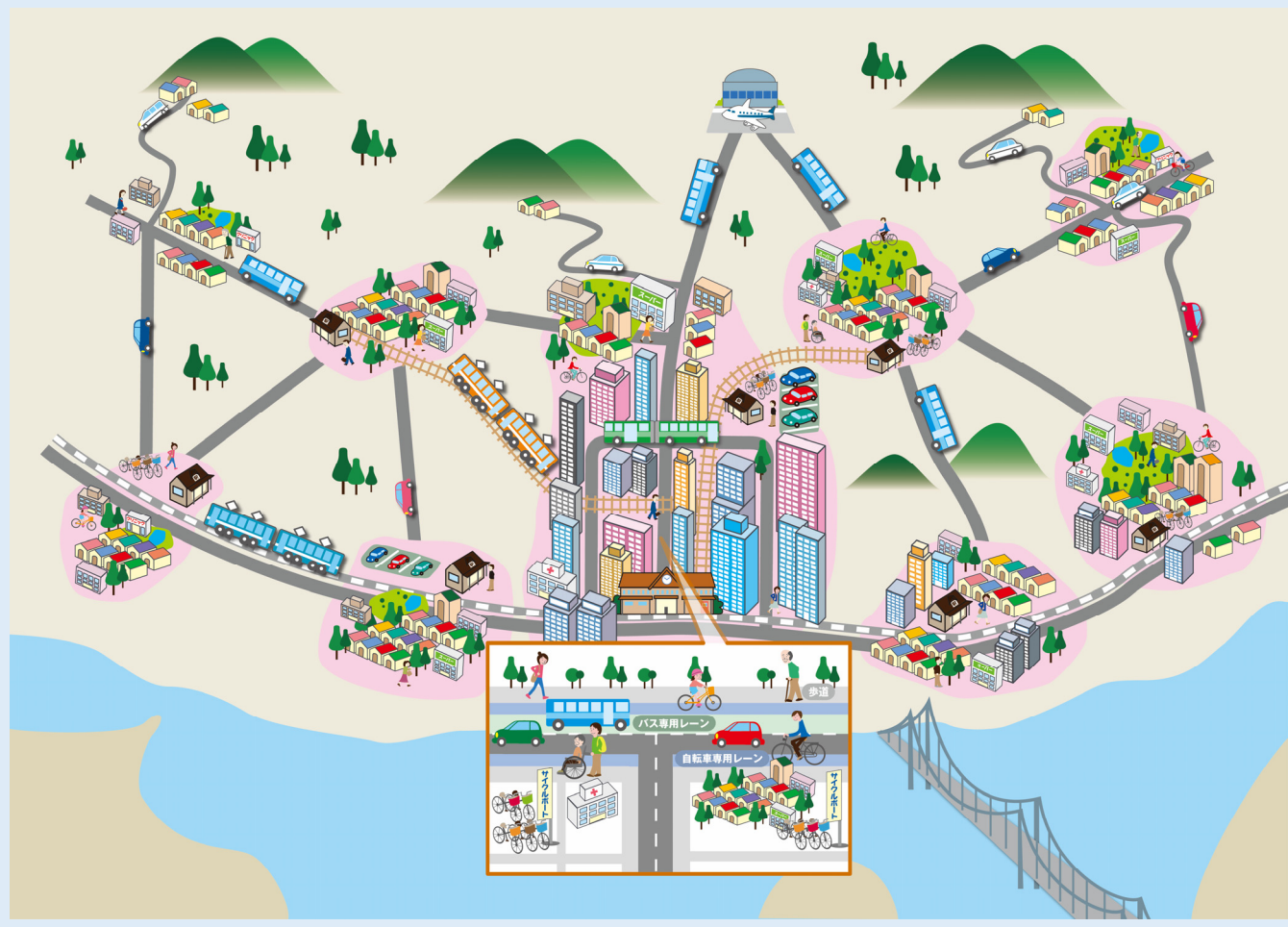
- ・拠点内の移動を便利にするための交通を確保します。

公共交通利用促進

- ・公共交通を将来にわたって維持し、より魅力的な移動を促していきます。

# 様々な施策を展開することで、集約型都市構造に！

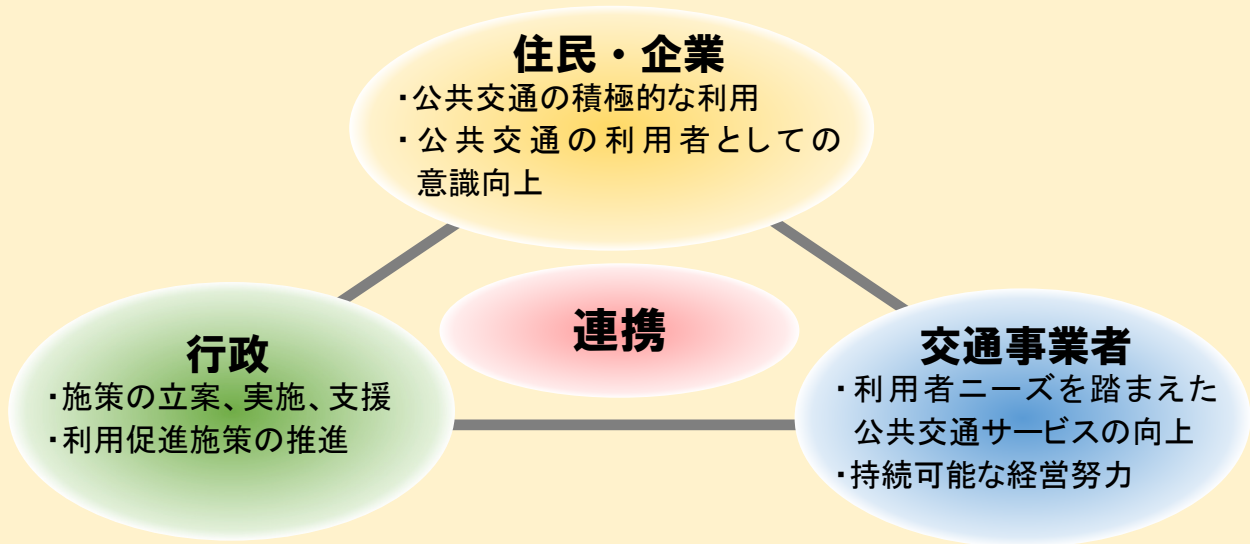
集約型都市構造への転換に向けて、交通施策や土地利用施策を都市圏全体に展開することで、誰もが暮らしやすい都市を実現します。



# みんなが住みやすい将来のまちづくりのために・・・

みんながそれぞれの役割を果たしながら、協働で取り組むことも必要です。

未来に向けた交通まちづくりを進めていくためには、行政だけではなく、住民の皆様や交通事業者の方々が、相互の連携を強化することが重要です。



そのためにはこのような取り組みが必要です。

## 公共交通の積極的な利用

・公共交通を守り、より便利なものに育てるために、積極的に公共交通を利用しましょう！！

## 公共交通の利用者としての意識向上

・交通まちづくりには、長い年月が必要です。今、住んでいる皆様が主体となって、将来世代のために、公共交通の利用促進を伝えていきましょう。

ちなみに、県民の皆様が3週間に1回でも公共交通を利用すれば、公共交通利用者は、現在の2倍になるとの試算もあります。将来の公共交通を維持していくためにも、行動してみましょう！！

将来のまちづくりは、みなさん次第！！

みんなで協力して、いつまでも住み心地のいい、まちをつくりましょう！！

